

神奈川県異グ連の活動状況を伝える機関紙 第5号<新年臨時号>

かながわ異グ連ニュース



発行：神奈川県異業種グループ連絡会議事務局長 芝 忠
〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センター 5F
TEL：045-633-5192 FAX：045-633-5194
Email：zan25564@nifty.com <http://www.kanagawa-iguren.com>

2003年を迎えるにあたり

かながわ異業種グループ連絡会議議長／南出健一

あけましておめでとうございます。本年も引き続き神奈川異グ連活動のご支援賜りますようお願い申し上げます。

2003年は私たち中小企業にとって、どんな年になるのでしょうか。いよいよ、処理すれど積もる一方の不良債権処理のピークを迎えようとしています。近年、その多くは建設業から製造業に移り始めているといわれています。

世界に「モノ作り大国」の名を欲しいままにしてきた日本も、その主導権を中国をはじめアジア諸国に譲り渡し、「産業の空洞化」は止め処もないところまで来てしまいました。もはや、日本は従来型の政治・経済構造では立ち行かず、国家そのものの根底を変革しなければならない状況に追込まれています。

出口のない閉塞状況に苛まれながらも、多くの人々は「今年こそ、少しは世の中よくなるだろう」と僅かな期待を持ち続けているのではないのでしょうか。

しかし、この10数年間、他力本願では何の光明も見えないことがハッキリ証明されました。それは自立に向けた意識・行動変革を私たち自身の手で進めて行かなければ何の解決の糸口も見出せないということを意味するのです。

さて、行き場のない閉塞状況に風穴を明ける手法として、いまほど異業種交流活動が脚光を浴びる時代はないかもしれません。そこで注目されているのが「アライアンス」と「コラボレーション」によりビジネスコンセプトを構築しようとする方法論です。最近、「元気な中小企業」としてマスメディアに取上げられている話題も企業間連携による新事業の立上げや、どこも真似の出来ない得意技による新製品の開発等、その背景には異業種交流活動によって支えられていることが少なからずあるのです。

ご承知のように神奈川異グ連の存在は全国で、その名をはせた有名な集団であり各界からも今後の活動に大きな期待をかけられています。とはいえ、激しく移り変わる経済構造の中にあっても、私たちの活動戦略も再構築する必要に迫られていることも事実です。その中核戦略は他でもない神奈川異グ連組織そのものを自立化させることです。当面、NPO化への衣替えを進め「公認された組織」にすることが第一歩になります。そして、活動を自立化させるための経済基盤を作り上げることが大命題になるのです。それにより、たとえば広域異業種グループインターネットフォーラムによる全国展開を日常活動にまでブレークスルーが可能になり、全国の中小企業の再生支援を担うことに直結できるのです。

2003年は今までにない厳しい環境になるでしょう。それでも私たち中小企業は生き残ります。そして「21世紀は中小企業の時代」に向けて生まれ変わる叡智を発揮し続けることでしょう。その拠点ともいべき、神奈川異グ連をより盤石な組織にするためにも各グループとこれを支えてくださる中小企業の強力な連携が求められるのです。皆様のお力添えを重ねてお願い申し上げます。

敬具

<かながわ異グ連関連行事1月~2月主な日程>

- 1月17日(金) 中小企業政策研究会
- 1月22日(水) K I Kー静岡交流会
- 1月23日(木) 都市プロジェクト第2回
- 2月6日~8日 テクニカルショウヨコハマ2003へ出展
- 2月13日(木) IT活用、助成金・補助金申請書の書き方セミナーと相談会
- 2月15日(土) 創業フォーラム in 横須賀「創業へのチャレンジ」「地域資源活用と創業促進」
- 2月18日(火) 商業・流通プロジェクト第3回(洪福寺松原商店街見学)

ニュース

！！中小企業が一番困っている資金問題について、話し合われました！！

昨年12月16日(月)異グ連慣例の「6団体共催忘年会」が、今回は“中小企業シンポジウム：中小企業の資金問題の現状”をテーマに開催されました。(参加者60人)

事例報告①三井住友銀行、法人部門ビジネスオーナー管理部上席推進役の森下智氏から、中小企業向けの新しい貸付商品(無担保無保証、5千万円まで)が同行のノウハウに基づくスピーディーな貸し付け審査により、6ヶ月で1千億円の実績となったことや、中小企業の評価方法(事業計画や経営者の評点)について説明がされ注目を集めました。

事例報告②横浜緑民民主商工会事務局長の川田優美子氏からは、会員の多重債務の実態など生々しい現状報告や、税務当局や金融機関・金融行政機関の対応の不味さなどが指摘されました。

事例報告③神奈川県中小企業家同友会代表幹事の石館治良氏からは、全国的に繰り返られている「金融制度の改善署名運動」が百万人に達する状況や、自社の金融機関との付き合い方など、貴重な事実関係が報告されました。

そのほか中小企業の労働組合幹部が始めて同席される等、会場は大変盛り上がりしました。日常的な異業種交流の中でこそ、他に真似の出来ない生々しい報告・発言ができるのだと改めて実感しました。(芝記)

<<かながわ異グ連の新規プロジェクトを4件紹介いたします！>>

新規プロジェクト①商業・流通プロジェクト！！商店街との交流を推進していきます！！

12月19日(木)「商業・流通プロジェクト」が開催されました。(衣替えしての再開でもあります)

- ・基本的な方向として、①商店街との協力、②個店の魅力アップ、③協力者(例、元住吉・広尾)との連携が打出されました。
- ・参加者は当日出席者8名の他、数名(現在4名)が参加意思を表明しています。
- ・運営責任リーダーとして魚崎誠也、サブに相楽守と決まりました。
- ・各参加者の意見交換から、今後、協力的な商店街とともに勉強会と現地見学を織り交ぜて推進し、商店街及び個店の魅力アップを目指す異業種交流の場を形成していくこととしました。
- ・今後、半年間の主な活動予定は下記の通りです。

1月；杉本明子氏(県藤沢商工労働センター)の講演と意見交換

2月；和田町・西谷・松原商店街の見学と討論

3月；元住吉・綱島・大倉山商店街の見学と討論

4月；横浜西口ダイヤモンド地下街の見学と討論

5月；早稲田商店街の見学と討論

6月；足立区アモーレ東和の田中社長の講演と意見交換

「追記」：興味をもたれた方、どんどん参加して下さい。

(相楽記)

新規プロジェクト②補助金獲得プロジェクト！！企業戦略の再認識になる補助金申請！！

芝事務局長が昨年10月に「中小企業・創業のための“新事業開発公的補助金申請・獲得マニュアル”」を執筆してテクノシステムが出版したことを受け、異グ連では補助金獲得プロジェクトを発足させ、第1回キックオフミーテ

ィングを12月20日(金)に開催しました。

(1)目的：企業経営全般の見直しや企業戦略の再構築となる補助金申請作業の支援と、不採択の場合の再挑戦相談や不採択の中で事業化に有望な案件を発掘することを命題としています。

(2)体制：東京都の市場創出協会と協力し、支援専門家グループを結成し、大学・大学院とも連携して段階的に全国ネットワークに発展させる予定。

市場創出協会(町田支部古川雅章氏)に専任担当を数名おき窓口とする。

なお異グ連として守秘義務が発生するので、専門家は異グ連会員になっていただくことが望ましい。

(3)運用：相談は有料としたい(案)

①支援作業料 3万円/(半日x3回) + 旅費

②成功報酬 獲得に成功した場合は獲得金額の5% 等

早急に組織作りと情報連絡会を行い、また支援専門家のスキルアップのための内部研修会、事例研修会を随時行なう事となった。
(小野川 記)

新規プロジェクト③都市プロジェクト!!ビルのリセットやテナントの事業化を支援!!

12月24日(火)都市プロジェクト「正式名称：都市再生(リセット)システム研究会・事業化プロジェクト」が開催されました。(第2回目は1月23日(木)10:00~12:00予定)

東京では「2003年問題」(高層ビルの竣工ラッシュに対し、古いビルのスラム化)の年を迎えておりますが、横浜でも他人事では有りません。特に関内地域はひとりの「支店経済」が「大手事業所空洞化」へと向かうという不安材料を抱えています。

これに対応すべく基本テーマを、①異業種交流的に企業間連携で、相互の知恵の創出、②ビジネスゾーンのコネクトでの企業・人的連携、③産学官・民連携での地域経済発展、つまり関内ブランドの新生・復活による地域産業の活性化を図る、としました。

ここで関内地域とは、JR桜木町駅から関内、石川町駅までの海側地域と仮定いたしました。関内地域では、来年2月の地下鉄開業、地域活性化の核と期待されるメディアセンター(神奈川新聞、TVK、関東学院大学社会人コース開設等)の建設が計画され、さらに歴史的建造物や文化施設の活用、既存ビルの業態変更(インテリジェントビル化、専門学校やクリニックの誘致)、およびこれことなうマンション・コンビニ・ファーストフード店の増加といった様々なプラス要因もかかえ、今後創業、新事業進出等新たな雇用の創出に向けて期待されています。

プロジェクトはリーダーが河津昭男、事務局長が緒方盛男とし、月一回のペースで研究会を開催し、今夏までには事業化をスタートする予定です。メンバーは広くオープンにし不動産業者、建築設計事務所、設備業者に始まり、さらにサービス(衣食)、IT関連、地元商店会、NPO福祉事業、大学、官公庁、マスコミ、エンジェル、ビジネスコーディネータ等々、あらゆる業界のネットワーク化を想定しています。

是非皆様のご参加をお待ちしています!!

(緒方 記)

<参考解説>2003年問題

今年東京都心部(大手町、丸の内、汐留、品川、六本木等)に完成するオフィスビル床面積は過去最大の227万㎡となり、ビル空室率は過去最高を更新することは確実だと言われている(2002年1月4.24%が12月に7.36%と急上昇している)。

今後の人口減や中国台頭による東京の地盤沈下により、空室率の回復シナリオが描けず、ビル経営不安による日本の最大問題である不良債権の増加が懸念されている。また都心ビル賃貸料の下落は事業所の都心集中を招き、近隣都市の空洞化を招く。官民連携した早急な対策が求められている。
(編集室)

<編集後記>明けましておめでとう御座います!!今年も神奈川異グ連の状況をお届けさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。年末年始の記事が多く、4号・5号(臨時号)として発行いたしました。次号はH15年神奈川異グ連活動計画と、異業種交流専門家育成講座は、ベテラン吉野先生の「競争と協業と異業種交流」をお届けする予定です。
(編集室)